

人間科学科 ディプロマ・ポリシー/カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシー(DP)	カリキュラム・ポリシー(CP)
人間科学科では、所定の卒業要件を満たし、以下の能力を修得した者に学士(人間学)の学位を授与します。	人間科学科では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を実現するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。
1 知識・専門性【学びの基礎力を基盤とした専門能力】	
<p>a. 自立的・主体的な学びのための教養・基礎力を身につけている。【教養・基礎力】</p> <p>b. 人間の心理・生命・社会行動に関する体系的な知識に依拠した、総合的な人間理解力を身につけている。【専門性】</p>	<p>学科必修科目を通して、人間理解のための基礎的な知識を学びます。また、実習・演習科目における実践を通じて、より専門的・実践的なスキルについて学びます。さらに、ゼミナール科目での対話やグループワークを通じて、専門的な知識と総合的な人間理解力を高めます。</p>
2 関心・態度・人格【他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力】	
<p>a. 自己と他者への深い洞察にもとづいて、社会において様々な人々と円滑な関係を築くことができる。【自己認識力・他者理解力】</p> <p>b. 人間が直面する様々な問題について自ら積極的に考え、継続してその解決に取り組むことができる。【主体性・実行力】</p> <p>c. 人間社会のストレスの問題について理解し、自己の心理的問題について対処することができる。【ストレスコントロール力】</p> <p>d. 人間尊重の倫理と高い道徳観を持つ。【倫理観】</p>	<p>人間学基幹科目群において、人間や社会について科学的・哲学的に深く考える姿勢を身につけます。さらに、実習・演習科目を通して、課題について主体的に粘り強く取り組む人材を育成します。</p> <p>現代社会におけるストレスに対応するため、臨床心理科目群および生命・健康科学科目群において心身の健康に関する問題の理解を深め、自己の健康増進に関わるストレスコントロール力を高めます。</p> <p>倫理に関する科目を通して、人間尊重の倫理と高い道徳観を持つ人材を育成します。</p>
3 思考力・判断力【課題を多角的に捉え、創造的に考える力】	
<p>a. 情報を適切に収集・分析し、かつ建設的な議論を踏まえ、課題解決に向けて科学的・論理的に考えることができる。【情報分析力・論理的思考力】</p> <p>b. 自ら課題を発見し、心理学・社会学・生命科学の立場から多角的な理解と提案ができる。【課題発見力・創造的思考力】</p>	<p>人間学基幹科目群において、哲学的・倫理的な「論証」を修得し、他者の見解を理解し、また自分の見解を明確に言葉で述べることができると同時に、種々な見解の合理性を批判的に検討できるようにします。また、実習・演習科目において、研究・調査法、統計的手法をはじめとした人間の理解に関する客観的視点と方法論を学びます。</p> <p>ゼミナール科目において、各教員の専門性に基づき、実習や卒業論文の執筆をおこない、専門領域についての理解と実践的スキルを高めます。これらを通じて、人間科学の総合的理解と実証的・批判的思考を修得するとともに、主体的に課題を発見する力や創造的思考力を身につけます。</p>
4 交感力・発信力【多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力】	
<p>a. 心理学の知識と実践力に基づく共感的なコミュニケーションを通して、様々な人々と相互理解を深めることができる。【コミュニケーション力】</p> <p>b. 自らの考えを、読み手の立場に立った明確かつ論理的な文章にまとめ、効果的なプレゼンテーションをおこなうことができる。【表現力】</p> <p>c. 人間に対する深い理解にもとづき、他者と協力しながら目標の実現に貢献できる。【傾聴力・チームワーク】</p>	<p>臨床心理科目群および産業・社会科目群において、対人関係、社会や環境における人間とその心理について学びます。</p> <p>ゼミナール科目において、心理学、社会学、生命科学、哲学などの専門領域についての文章執筆やプレゼンテーションを行うことを通じて、表現力を高めます。実習・演習科目においても、グループにより研究・調査の実践ととりまとめを行うことを通じて、コミュニケーション力、傾聴力、チームワークを養います。</p>